



[トップ](#) > [ニュース](#) > 小西化学工業が工場拡張で県市と立地協定（写真付）

小西化学工業が工場拡張で県市と立地協定（写真付）

2017年03月28日 19時25分 [ニュース](#), [社会](#)

化学製品を製造する和歌山市の小西化学工業株式会社は、工場内に新たなプラント施設を建設することになり、きょう（28日）和歌山県と和歌山市と立地にかかる協定を締結しました。



（左から）尾花市長、小西社長、岡本部長

和歌山市小雑賀（こざいか）の小西化学工業は飛行機や自動車のプラスチック部分の強化材や、ICチップの表面処理材などを製造していて、今後は、本社工場にある4つのプラントのうちの1つを拡張する形で、敷地内に新たに4階建ての建屋を建設し、来年（2018年）8月から開発実験や商品化の検討に使用するという事です。

投資額はおよそ6億1200万円で、協定により、このうちの一部を県が負担するほか、建設にかかる税金や、生まれる雇用に対して市が助成します。

きょう午前11時から和歌山市役所の市長室で行われた調印式で、小西化学工業の小西弘矩（こにし・ひろのり）社長と和歌山市の尾花正啓（おほな・まさひろ）市長、それに県・商工観光労働部の岡本圭剛（おかもと・よしたけ）部長の3人が協定書にサインしました。



協定書にサインする3者

小西社長は「中小企業が新しい事業を始めることは勇気が要ることなので、行政から力添えをもらえるのは心強い。必ず成功して雇用を増やし、地域に貢献したい」と話していました。また尾花市長と岡本部長も、雇用の創出や産業の発展に期待を示しました。